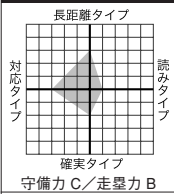


57 佐藤 賢治

右投左打/181cm78kg
19歳1年目/06高・2巡目
横浜高

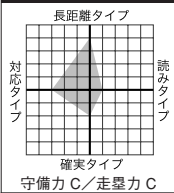


■どんな選手? / 将来の中軸候補。昨春のセンバツでは優勝に大きく貢献。長打力に柔軟なバットコントロール、野手の頭の高さで返球を長く伸ばせる強肩、そして俊足と能力満載。■観戦ポイント/グリップを高く構え、懐が広い打席の姿。投手は魅入られたように好球を投げてしまいう。■お節介アドバイス/時に気分屋な面をのぞかせ、プレーに粗さがあるのは玉にキズ。攻守にキメの細かさ丁寧さが出れば、高い能力を生かせるはず。

新人選手
活躍予想 梅↑

55 神戸 拓光

右投左打/191cm98kg
22歳1年目/06大社・3巡目
土浦日大高→流通経済大

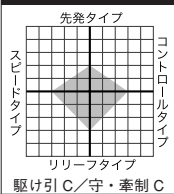


■どんな選手? / 和製大砲になれる好素材。05年後半から抜群の体躯を生かした長距離打者として台頭。体にキレが出れば、将来は年間40本も望める器だ。■観戦ポイント/バツに来た時の140メートルの放物線。プロでも稀なアーチを描き、打ち損じでも右中間へライナーが襲う。■お節介アドバイス/好球以外には粘り強さがイマイチ。何とかヒットにしようとするがむしゃらさがほしい。また、変化球に崩された時の落胆を表に出さぬように。

新人選手
活躍予想 梅↑

69 江口 亮輔

左投左打/175cm77kg
23歳1年目/06大社・5巡目
大成高→愛知学院大

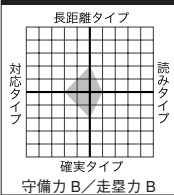


■どんな選手? / 即戦力候補の左腕。大学2年時に注目された後に伸び悩んだが、4年秋になって復活。真つすぐは140キロをマークするようになり、カーブも本来の落差を取り戻した。■観戦ポイント/独特の変化のカーブ。一度ホップしてからタテに急激に落ちる。直球との球速差は約40キロ。■お節介アドバイス/最大の武器であるカーブをさらに磨くことが課題。心身にタフさがあり、頼りになる中継ぎとして藤田の後継者を目指してみても?

新人選手
活躍予想 梅↑

61 角中 勝也

右投左打/180cm80kg
20歳1年目/06大社・7巡目
日本航空二高→高知ファイティングドックス

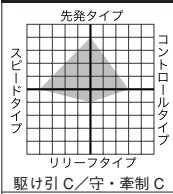


■どんな選手? / 将来の伸びに期待したい外野手。高校時からのシュアで勝負強い打撃は四国リーグの実戦でも光った。右腕を少し空けて、ややアップバ一気味の独特なスイング軌道が持ち味。■観戦ポイント/きれいなタテの回転で伸びてくるロングスロー。コントロールもよく、タッチプレーのしやすいう球を投げる。■お節介アドバイス/ロケットの外野陣でもトップクラスの強肩は魅力。まずは返球精度をチームNo.1にして、首脳陣にアピールしたい。

新人選手
活躍予想 梅↑

1 大嶺 祐太

右投左打/184cm80kg
19歳1年目/06高・1巡目
八重山高

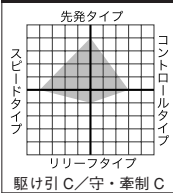


■どんな選手? / 将来200勝の夢も持たせる大器。潜在能力は規格外。素質だけで140キロ後半の速球と高速スライダーを投げる。フィールディングも敏捷かつ正確だ。高校時は故障も多く、まずはしっかり体をつくる。■観戦ポイント/指にかかったときのホップ。ストライクゾーンの真つすぐで空振りが取れる。■お節介アドバイス/故郷の島以外での生活は初。さまざまな誘惑に惑わされぬよう人間的にも大きく成長し、球史に残る投手になれ!

新人選手
活躍予想 梅↑

36 黒滝 将人

右投右打/183cm83kg
19歳1年目/06高・3巡目
札幌日大高

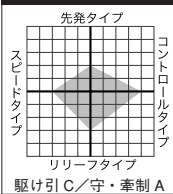


■どんな選手? / 将来性豊かな右腕。一昨夏から秋にかけて持ち味の腕の振りがさらに豪快になり、スピード、カーブのキレとも一段と成長した。無類の練習熱心で、投げれば投げるほどいい味を出しそうな隠れた逸材だ。■観戦ポイント/重量感とマウンド上での風格を兼ね備えた力の投球。■お節介アドバイス/高校時代はその雄大なスケールの対極にあるスキヤ詰めの甘さが見受けられた。ピッチングスタイルに自分なりの創意工夫を凝らしたい。

新人選手
活躍予想 梅↑

0 荻野 忠寛

右投右打/174cm72kg
25歳1年目/06大社・4巡目
桜美林高→神奈川大→日立製作所

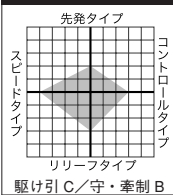


■どんな選手? / 即戦力候補の右腕。社会人を経験し、外角のコントロールが格段によくなった。タテのカーブと動く真つすぐが武器のリリーフタイプだ。■観戦ポイント/打者にとって球種判別しにくい腕の振り。■お節介アドバイス/短いインニングで継投する傾向のあるチームだが、彼は打者一巡を投げさせてみたい投手。いずれにせよ、中継ぎでフルに起用される可能性が十分に考えられる。小柄な体格だけにアフターケアは念入りに行いたい。

新人選手
活躍予想 竹↑

38 中郷 大樹

右投右打/178cm75kg
23歳1年目/06大社・6巡目
那賀高→JR四国



■どんな選手? / 将来性豊かな右腕。社会人時代、05年は肩痛で不本意な成績。しかし昨年は巻き返す奮発を見せた。肩の回復途上でも常時140キロ前半をマークする潜在能力は魅力。■観戦ポイント/力の投球術。一見、本格派の印象も、消える体感のスライダーを武器に内外角を広く使うことができる。■お節介アドバイス/目指すタイプはチームの先輩・小林宏。スライダーとフォークのコンビネーションを盗めるような実力をつけよう。

新人選手
活躍予想 梅↑

今年はどうなチーム?
2年ぶりのブレイクオフ進出を目指すマリナーズ。05年日本一の原動力となった投手陣は昨季不調ながらもスタツフは健在で、攻撃陣は的確な補強に成功した。十分に目標到達可能なチームとなっている。
先発陣は5年連続2ケタ勝利の清水が軸で、昨季10勝の小林宏、渡辺俊、小野、久保と計算できる投手5人がそろろう。昨季の渡辺、久保は負け越したが、ローテを守つての結果ゆえに巻き返せるはず。さらには若手左腕の成瀬、新外国人の呉も候補

◆主な球団スタッフ

オーナー	重光 武雄
オーナー代行	重光 昭夫
球団代表兼球団社長	瀬戸山隆三
スカウティング&ルーパバ	松本 尚樹
編成	嘉数 駿
チーフスカウト	鈴木 皖武
スカウト	井辺 康二
	永野 吉成
	山下 徳人
	山森 雅文
	黒木 純司
調査	佐藤 幸彦

●1軍

監督	ホー・バレンタイン 2
ヘッド兼外野守備	西村 徳文 78
走塁兼三塁ベース	
投手	井上 祐二 79
打撃	高沢 秀昭 75
バッテリー	袴田 英利 85
ブルペン	荘 勝雄 88
内野守備兼ベンチ	フランク・ランバン 83
走塁兼一塁ベース	高橋 慶彦 87
ヘッドコンディショニング	立花 龍司 90

●2軍

監督	古賀 英彦 71
ヘッド兼内野守備走塁	佐藤兼伊知 76
投手	園川 一美 81
打撃	佐野 嘉幸 89
打撃補佐	平井 光規 72
バント兼外野守備走塁	諸積 兼司 73
バッテリー	吉鶴 憲治 77

根元の台頭が期待される。
YOSHIEで決まりだが、2番の堀は高年齢のベテランだけにフル出場は厳しい。セカンド候補でもある青野、根元の台頭が期待される。
となる。リリーフ陣は抑えの小林雅セツトアップの敵田、藤田が今季も確立し、目立つ綻びはない。
一方、打線はズレタの加入により、福浦、ベニーと組むクリーンアップを固定できるの大きい。破壊力が増したのももちろん、いづれも打率を残せるので安定感がある。しかも、これで下位打線に里崎、今江、サプローを置けるのは強み。特に、昨季は捕手にして4番も務めた里崎は負担が減り、守備とリード面も好転するはずだ。また、1番はTSUYOSHIEで決まりだが、2番の堀は高年齢のベテランだけにフル出場は厳しい。セカンド候補でもある青野、根元の台頭が期待される。

助っ人を頼りにしつつ、TSUYOSHIE、今江を筆頭に生え抜きも伸びている野手陣。そのなかで大松、青野という若手も台頭してきた。今季はその成長過程が見逃せない。
昨シーズン8本塁打と長打力が開花しつつある大松は、プロ1号が満塁弾。青野も満塁でプロ初本塁打を放つと、なんと2本目も満塁と、2人とも派手にデビューした。外野手の大松はワトソンが当面のライバルで、セカンドの青野は堀の後継者としてレギュラー獲りを目指す。
堀の後継候補としてはもう1人、根元がいる。彼は昨季1年目ながらファームで打率・343を残し、イースタン首位打者を獲得。1軍では結果を残せなかったが、守備力で青野をしのいでいる。果たしてどちらが抜擢されるのか、注目したい。

観戦のツボ
●充実投手陣に若手の伸びも
●鷹の大砲加入で主軸が安定
●2人の満塁男の台頭に期待
磐石に見えるリリーフ陣だが、小林雅は今年33歳、敵田は34歳、藤田は35歳。やや高齢化している印象が否めない。昨年は敵田の故障離脱もあつただけに、そろそろ次代への準備が必要だ。その点、新人でリリーフ向きの荻野、左の松本は即戦力の器。うまく起用していきたい。
また、守備面の懸念は外野陣。昨季の失策数はリーグワーストタイ。今季も両サイドがベニー、ワトソンだと危なっかしい。特にワトソンのライトは不安だ。リードした試合終盤は大塚と交代して固めたい。

CHIBA LOTTE MARINES
千葉ロッテマリーンズ
2006年パ・リーグ4位 65勝70敗1分

今年の観戦ポイント
●充実投手陣に若手の伸びも
●鷹の大砲加入で主軸が安定
●2人の満塁男の台頭に期待
磐石に見えるリリーフ陣だが、小林雅は今年33歳、敵田は34歳、藤田は35歳。やや高齢化している印象が否めない。昨年は敵田の故障離脱もあつただけに、そろそろ次代への準備が必要だ。その点、新人でリリーフ向きの荻野、左の松本は即戦力の器。うまく起用していきたい。
また、守備面の懸念は外野陣。昨季の失策数はリーグワーストタイ。今季も両サイドがベニー、ワトソンだと危なっかしい。特にワトソンのライトは不安だ。リードした試合終盤は大塚と交代して固めたい。

■本文中に登場する成績、記録は2006年のものです。